

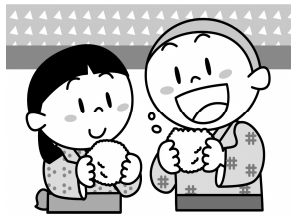
給食だより

津山市立学校食育センター
令和3年1月号



1月24日から30日は

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん



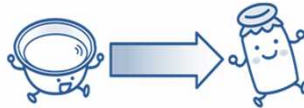
がっこうきゅうしょく 学校給食のはじまり

学校給食は、明治22（1889）年に山形県の私立小学校で、貧しくてお弁当を持ってこれない子どもたちのために昼食を提供したのが始まりとされています。

その後、戦争による食糧不足で中断していましたが、子どもたちの栄養不足を改善するため、アメリカの民間団体「ラウ」から届けられた脱脂粉乳や小麦粉などで試験的に再開されました。

物資の贈呈式が行われた昭和21（1946）年12月24日を「学校給食感謝の日」とし、冬休みと重ならない1ヵ月後の1月24日から30日が「全国学校給食週間」となりました。

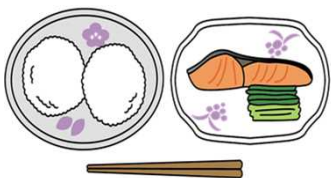
がっこうきゅうしょく うつ か 学校給食の移り変わり



主食・主菜・副菜がそろっています。



明治22年・日本初の給食



おにぎり・焼き魚・つけもの

昭和30年代



コッパン・ミルク・副食
(脱脂粉乳)

主菜
副菜
主食
副菜



「食の手本」としての生きた教材

つ や ま し がっこうきゅうしょく 津山市の学校給食



いま いろいろな料理が登場します♪



昭和22（1947）年からミルク給食（ミルクのみ）、補食給食（ミルクとおかずのみ、主食は持参）が開始され、昭和32（1957）年に完全給食（主食、ミルク、副食）が始まりましたが、食材の野菜類は家庭から持ち寄っていました。

現在では、健康な毎日を送るための「食の手本」として、大切な役割を果たしています。おうちの人や友達、先生と給食について話をしてみてくださいね。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかんちゅう 全国学校給食週間中の献立



昭和30年頃をイメージした「なつかしの給食」や、「津山の郷土料理」、「岡山ご当地料理」、東京オリンピックホスト国の「モナコ料理」など盛りだくさんです。お楽しみに♪